



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 2499 URL <https://www.wasou.com/profile/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴野 尚史
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 柴崎 厚志 TEL 03-5843-0097
半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 2025年9月10日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無（2025年8月20日に当社ウェブサイトにおいて決算説明の動画配信を予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	2,153	△3.0	99	△6.4	73	△12.2	53	9.5
2024年12月期中間期	2,219	0.5	105	△15.8	84	△21.9	48	△35.5

（注）包括利益 2025年12月期中間期 37百万円（△38.4%） 2024年12月期中間期 60百万円（△30.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	5.90	—
2024年12月期中間期	5.39	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	8,889	3,597	40.5
2024年12月期	9,341	3,632	38.9

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 3,597百万円 2024年12月期 3,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	3.00	3.00	3.00	5.00	14.00
2025年12月期	3.00	3.00			
2025年12月期（予想）			3.00	5.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,715	0.2	490	2.0	440	1.8	300	1.2	33.09
	～4,815	～2.3	～541	～12.6	～487	～12.6	～333	～12.3	～36.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期中間期	9,134,000株	2024年12月期	9,134,000株
--------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2025年12月期中間期	68,400株	2024年12月期	68,400株
--------------	---------	-----------	---------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年12月期中間期	9,065,600株	2024年12月期中間期	9,065,600株
--------------	------------	--------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、中東情勢の長期化による資源価格の高騰や物価上昇の継続による消費者マインドの下振れリスク、米国による通商政策の影響など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当中間連結会計期間における卒業生(既存顧客)向けのイベントにつきましては、「ブリリアンツ地区予選大会」の取扱金額は前年比約110%と堅調に推移し、産地ツアーにおきましても1月に「初春ツアー」4月に「米沢ツアー」6月に「京都ツアー」等を開催し、好評を博しました。

また、5～6月には当社恒例のイベントの中でも特に力を入れている全国21会場で行われた「縁の会」と東京が会場となる日本最大級のきもの祭典「遊々会」には約2,300人にご来場いただきました。

受講料無料のきもの着付け教室におきましては、昨年に引き続き富永愛さんをイメージキャラクターに採用し、春限定の「お試し2回無料着付け体験」のプロモーション活動を積極的に展開、新規顧客の獲得に注力いたしました。同体験は、昨年実施の「お試し3回無料体験」の内容を2回に凝縮し、販売を伴わず着付け体験のみに特化した構成とすることで、受講のハードルを下げ、より幅広い層への訴求を図りました。昨年同様、体験終了後には、希望者に対して受講料無料の本教室(全5回)をご案内しており、受講者から好評を得ておりますが、消費者動向等により、新規応募者数は昨年と比べ減少する結果となりました。今後は、新規顧客の獲得だけでなく定着にも力を入れ、卒業生(既存顧客)向けの催事に、より多くのお客様にご来場いただけるよう、消費者ニーズを的確に捉えた魅力あるご提案に取り組んでまいります。

また、開設から1年を迎えたECサイト「KAERUWA」では、今まで当社グループで取り扱いがなかった洗える着物・帯などのリーズナブルな価格帯の商品を取り揃え、拡充を図っております。今後も引き続き、当社グループのシナジー効果を活かし、「和の総合サイト」を目指して、オリジナル商品の開発などにも注力してまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,153百万円(前年同期比3.0%減)となり、営業利益99百万円(前年同期比6.4%減)、経常利益73百万円(前年同期比12.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は、収用補償金が発生したことにより53百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は8,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ426百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が416百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は274百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が20百万円及び有形固定資産が3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、8,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は3,554百万円となり、前連結会計年度末に比べ177百万円減少いたしました。これは主に流動負債のその他が156百万円及び短期借入金が45百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,737百万円となり、前連結会計年度末に比べ239百万円減少いたしました。これは長期借入金金が239百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、5,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ417百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は3,597百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加53百万円及び剰余金の配当72百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は40.5%(前連結会計年度末は38.9%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,083百万円(前年同期は2,315百万円)となりました。なお、当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は50百万円(前年同期は67百万円の使用)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益95百万円、営業未収入金の減少61百万円、契約負債の増加42百万円、法人税等の支払額52百万円、割賦売掛金の増加45百万円及びその他の減少144百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は10百万円(前年同期は24百万円の使用)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入35百万円、定期預金の預入による支出43百万円及び有形固定資産の取得による支出2百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は357百万円(前年同期は45百万円の使用)となりました。これは長期借入れによる収入1,000百万円、長期借入金の返済による支出1,154百万円、短期借入金の純減少額130百万円及び配当金の支払額72百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期連結業績予想につきましては、2025年2月14日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,749,609	2,332,681
営業未収入金	235,694	172,216
割賦売掛金	5,430,797	5,476,770
棚卸資産	121,273	147,226
その他	545,855	535,632
貸倒引当金	△41,778	△49,445
流動資産合計	9,041,452	8,615,082
固定資産		
有形固定資産	118,376	114,845
無形固定資産	20,014	17,855
投資その他の資産	162,020	141,858
固定資産合計	300,411	274,560
資産合計	9,341,863	8,889,642
負債の部		
流動負債		
営業未払金	37,698	39,555
短期借入金	2,608,773	2,562,964
未払法人税等	67,326	34,163
契約負債	364,378	406,506
営業預り金	23,972	37,154
その他	630,746	474,559
流動負債合計	3,732,895	3,554,904
固定負債		
長期借入金	1,970,272	1,731,157
その他	6,000	6,000
固定負債合計	1,976,272	1,737,157
負債合計	5,709,167	5,292,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	478,198	478,198
資本剰余金	292,211	292,211
利益剰余金	2,862,971	2,843,950
自己株式	△22,629	△22,629
株主資本合計	3,610,751	3,591,730
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	1,313	△24
為替換算調整勘定	20,630	5,875
その他の包括利益累計額合計	21,944	5,850
純資産合計	3,632,695	3,597,581
負債純資産合計	9,341,863	8,889,642

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,219,266	2,153,637
売上原価	188,636	179,782
売上総利益	2,030,630	1,973,855
販売費及び一般管理費	1,924,905	1,874,851
営業利益	105,724	99,003
営業外収益		
受取利息	958	2,428
助成金収入	135	33
為替差益	1,094	269
その他	966	635
営業外収益合計	3,154	3,367
営業外費用		
支払利息	16,301	21,424
支払手数料	8,396	7,096
その他	171	93
営業外費用合計	24,870	28,614
経常利益	84,009	73,755
特別利益		
取用補償金	—	22,197
特別利益合計	—	22,197
税金等調整前中間純利益	84,009	95,952
法人税、住民税及び事業税	20,969	22,323
法人税等調整額	14,183	20,125
法人税等合計	35,153	42,449
中間純利益	48,856	53,503
親会社株主に帰属する中間純利益	48,856	53,503

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	48,856	53,503
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1,813	△1,338
為替換算調整勘定	10,039	△14,755
その他の包括利益合計	11,853	△16,093
中間包括利益	60,709	37,410
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	60,709	37,410

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	84,009	95,952
減価償却費	11,176	9,841
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,804	7,667
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	△579	—
受取利息	△958	△2,428
支払利息	16,301	21,424
助成金収入	△135	△33
収用補償金	—	△22,197
営業未収入金の増減額(△は増加)	9,766	61,182
割賦売掛金の増減額(△は増加)	△151,162	△45,973
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,033	△26,253
営業未払金の増減額(△は減少)	15,358	2,000
契約負債の増減額(△は減少)	94,629	42,127
営業預り金の増減額(△は減少)	7,747	13,181
割賦利益繰延の増減額(△は減少)	4,229	△8,422
その他	△9,977	△144,313
小計	69,177	3,756
利息の受取額	958	2,428
利息の支払額	△15,670	△21,521
助成金の受取額	198	46
収用補償金の受取額	—	16,994
創業者功労金の支払額	△50,000	—
法人税等の支払額	△71,741	△52,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	△67,077	△50,395
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	6,519	35,952
定期預金の預入による支出	△16,900	△43,384
有形固定資産の取得による支出	△3,817	△2,939
無形固定資産の取得による支出	△2,300	△1,080
敷金及び保証金の差入による支出	△9,093	△497
敷金及び保証金の回収による収入	1,447	1,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,145	△10,225
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△130,000
長期借入れによる収入	1,650,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,623,019	△1,154,923
配当金の支払額	△72,524	△72,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	△45,544	△357,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,033	△1,284
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△135,733	△419,354
現金及び現金同等物の期首残高	2,451,432	2,502,777
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,315,698	2,083,423

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。